



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を つくります

地元の声

・ 人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。（地元住民）

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

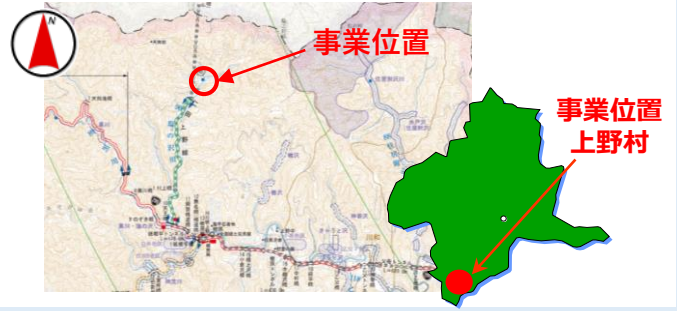
◆ 防護柵をつくることにより落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：上野村大字榎原
- 事業内容：防護柵工 延長63m
- 事業期間：令和3年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ●



● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度も対策工事を進めていきます。

